

いざという時のために

海老名の防災対策

☎ 危機管理課 (235)4790



▲地震当日、一時は約6,000人が海老名駅に滞留

平成23年3月11日14時46分。東北地方太平洋沖地震が発生したあの時、あなたはどこで、何をしていましたか？

「家族と連絡が取れずに困った」「電車が止まって家に帰れなかった」など、あの日、多くの方が突如のことに戸惑い、どう行動すればよいのか迷ったのではないのでしょうか。

いつ発生するか分からない災害に対して、私たちにできることは事前の備えです。各家庭での備えはもちろん必要ですが、市でも東日本大震災の教訓を踏まえて、各種の防災、減災の取り組みを進めてきました。今号では、防災に関する市の取り組みを紹介します。

トライアングル交流宣言の調印

平成22年4月、災害時の相互援助を目的に、海老名市・宮城県白石市・北海道登別市の三市間で結ばれた「危機発生時における相互応援に関する協定」。東日本大震災発生時には、この協定を生かし、白石市への援助を行いました。

このような背景から、今後も三市間の交流と相互支援関係を強化するため、23年4月には「トライアングル交流宣言」を調印しました。現在、海老名市都市間交流協会が窓口となり、三市間の交流を進めています。

なお、24年11月には、暴風と大雪による停電被害に見舞われた登別市に対して支援を行いました。



▲(左から) 内野市長・風間白石市長・小笠原登別市長

各種情報発信媒体の整備

◆えびなメールサービス

市からのお知らせや実施した事業などのアンケート、防災行政無線情報・警察からのお知らせなどを、事前に登録していただいた方に配信しています。

登録はpsc2i@fota.jp宛てに空メールを送信。詳しくは、市ホームページまたはIT推進課(☎235-4715)へ。



◆防災ホームページの運用

最新の災害情報や防災行政無線で流れた内容を掲載しているほか、天気予報・交通機関の運行状況などもリンクしているの、日常生活の中でも活用してください。

大型防災備蓄倉庫の設置

防災資機材や生活必需品を備蓄している倉庫で、北部地区(上今泉)と中部地区(大谷)の市内2カ所で運用しています。今年度は、南部地区(杉久保)に建設する予定です。

◆どんなものが入っているの？

飲料水や非常食のほか、真空パック毛布、1台で100人分の炊き出しができるレスキューキッチンやバルーン投光器付発電機、簡易組み立て式トイレなどが備蓄されています。



▲中部地区大型防災備蓄倉庫

また、災害時には避難所の開設状況や避難勧告・指示、安否情報確認などの緊急情報も発信します。ぜひ、ブックマーク登録をお願いします。

◆防災行政無線放送音声案内

防災行政無線放送を補完するため、音声ガイドサービス(有料)を行っています。

利用は、一般加入電話および携帯電話から☎0180(994)050へ。

※IP電話や光回線電話からの利用はできません。

◆tvkデータ放送

テレビ神奈川(3ch)のデータ放送で、市からのお知らせなどの行政情報を配信しています。

平成24年3月からは、防災行政無線で放送した内容の配信も開始しました。悪天候や風向きなどで防災行政無線の内容が聞き取れなかった場合は、こちらでも確認できます。



始めました！ 災害時の燃料備蓄

消防署今里出張所開設

☎(231)5153
☎ 消防総務課

震災発生後、ガソリンなどの燃料供給が滞り、給油所には長蛇の列ができました。当時、一般車両に割り込んで給油することもできず、救急車や消防車などをはじめとした公用車、非常用自家発電機の運用などの対応に苦慮したこともありました。これらは、非常時にこそ必要なものであり、運用に支障を来すことは避けなくてはなりません。被災地でも、非常時のエネルギー供給源の確保は大きな課題となりました。

この経験から、市では非常時の燃料確保のため、自前の燃料貯蔵施設を整備することを検討し、既存の給油取扱所を有効活用することが最善と判断しました。その結果、休止していた今里の民間給油所を買収し、3月1日から「消防署今里出張所」として運用しています。

普段はどうしているの？

平常時は公用車などの給油場所として使っています。また、立地的に海老名インターチェンジに近いため、市内を走る圏央道や東名高速道路で事故などが発生した時には、対応拠点基地として運用します。

一般車の給油はできますか？

緊急車両や公用車専用のためできません。



▶消防署今里出張所